iBSolution

ネットワーク認証アプライアンス

iBAQS-FS

取扱説明書

Ver 1.0

目次

はじめに. 4

本書の見かた. 5
内容物に関して. 5
著作権について. 6

ご利用の前に. 7

本書の構成. 8
iBAQS-FS について. 9
動作環境について. 12
各部の名称と働き. 14
対応するネットワーク機器. 16
システム構成について. 17
環境条件. 18
iBAQS-FS のご利用手順. 19

準備. 20

iBAQS-FS インストール. 21
ライセンスキー登録. 21
各部の名称と機能. 23
全体構成. 23
ヘッダ. 23
メニュー. 24
メイン. 25

監視. 26

トップ. 27
不正アクセス状況. 30
認証失敗状況. 32
サービス状態. 33
ネットワーク機器状態. 35
クライアント状態. 36
ログ監視. 38
認証ログ. 40
管理ログ. 42

設定. 44

サーバ設定. 46
システム設定. 59
ライセンス設定. 52
外部連携設定. 54
UPS 連携設定. 55
SNMP マネージャ連携設定. 56
管理者設定. 58
DHCP 設定. 60
セグメント追加. 62
セグメント編集. 64
セグメント削除. 66
クライアント設定. 67
クライアント追加. 69
クライアント一括変更. 72
クライアント一括削除. 77
クライアント編集. 78
クライアント削除. 80
ネットワーク機器設定. 82
ネットワーク機器追加. 84
ネットワーク機器編集. 86
ネットワーク機器削除. 88
スケジュール設定. 89
バックアップ設定. 92
リストア. 95
アップデート. 97

管理. 99

ハードウェア状態. 100
通信確認. 101
ログアウト. 102

その他. 103

困ったときは. 104

はじめに

本書の見かた.....5
内容物に関して.....5
著作権について.....6

本書の見かた

本説明書ではご注意いいただきたい内容や参照ページを次のように記載しています。

メモ	知っておくと便利なことや、関連知識などを記載しています。
ご注意	操作上お守りいただきたい事項や、ご注意いただきたい事項を記載しています。
▸P. 00	参照するページを記載しています。

内容物に関して

ご使用の前に、次のものがそろっているかご確認ください。万一、不足しているものがあった場合は、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

●iBAQS-FS 本体（アプライアンス製品）
1U のラックマウント型サーバです。

●iBAQS-FS ライセンス証書
本製品のライセンスキーを記載しています。

●iBAQS-FS ドキュメント CD
本製品のドキュメントが収録されています。

●電源ケーブル
3P の AC ケーブルです。
AC 100V 専用です。

●梱包物一覧
梱包物の一覧が記載されています。

●使用許諾契約書
本製品の使用許諾契約の内容が記載されています。

著作権について

権利者の許諾を得ることなく、このソフトウェアおよび取扱説明書の内容の全部または一部を複写すること、およびこのソフトウェアを賃貸に使用することは、著作権法上禁止されています。

ソフトウェアを使用したことによるお客様の損害、または第三者からのいかなる請求についても、アイビーソリューション株式会社は一切その責任を追いかねます。このソフトウェアの仕様は、改良のため予告なく変更する場合がありますが、ご了承ください。

Microsoft、Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。

その他、本書で登場するシステム名、製品名は、一般に各開発メーカーの登録商標あるいは商標です。

ご利用の前に

本書の構成. 8
iBAQS-FS について. 9
動作環境について. 12
各部の名称と働き. 14
対応するネットワーク機器. 16
システム構成について. 17
環境条件. 18
iBAQS-FS のご利用手順. 19

本書の構成

本書の構成は次の通りです。

■ご利用の前に

iBAQS-FS の特長や動作環境など、あらかじめ知っておいていただきたいことについて説明します。

■準備

ライセンスキーの登録など、iBAQS-FS の準備内容を説明します。

■監視

各種ステータス、ログの内容について説明します。

■設定

iBAQS-FS の各種設定方法について説明します。

■管理

管理に利用できるツールついて説明します。

■その他

エラーメッセージの見かたやシステム異常時の対処方法について説明します。

iBAQS-FS について

iBAQS-FS は認証スイッチと連携した不正アクセス防止機能を提供します。ネットワークプリンタやインテリジェントスイッチ等の IEEE 802.1X 認証を利用できない機器では MAC ベース認証のみの利用もできます。また、DHCP サーバや各種アラートメール通知機能を備え、iBAQS-FS 上でクライアント、認証スイッチの一元管理を行うことができます。

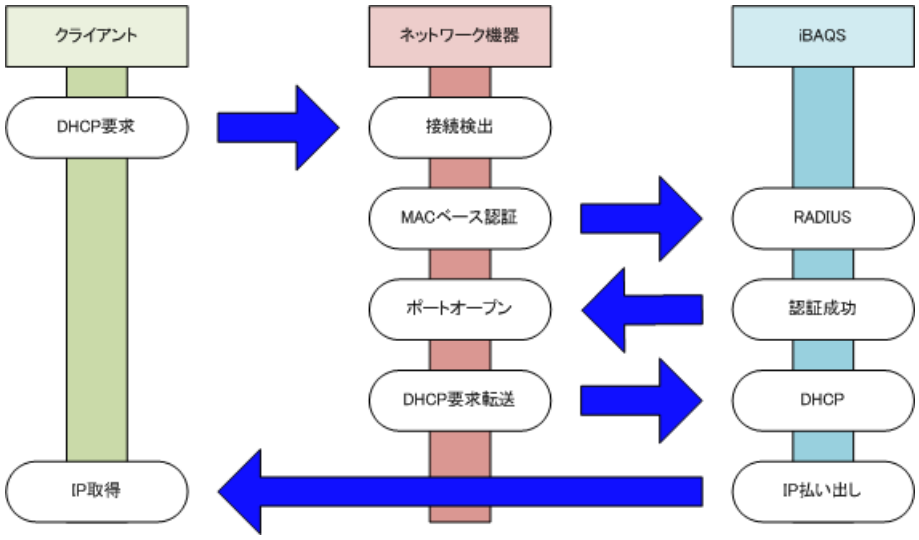
本製品は以下の特長があります。

●認証 DHCP サーバ

iBAQS-FS は未登録クライアントに対して IP アドレスを払い出さない固定モード、特定モード、未登録クライアントに対しても IP アドレスを払い出すダイナミックモードを用意しています。固定モード、特定モードをご利用いただくことで、未登録クライアントが非認証ポートに接続してもネットワークの利用が行えないようにセキュリティを高めることが可能です。別途 DHCP サーバをご利用の場合には iBAQS-FS の DHCP サーバを無効化することも可能です。

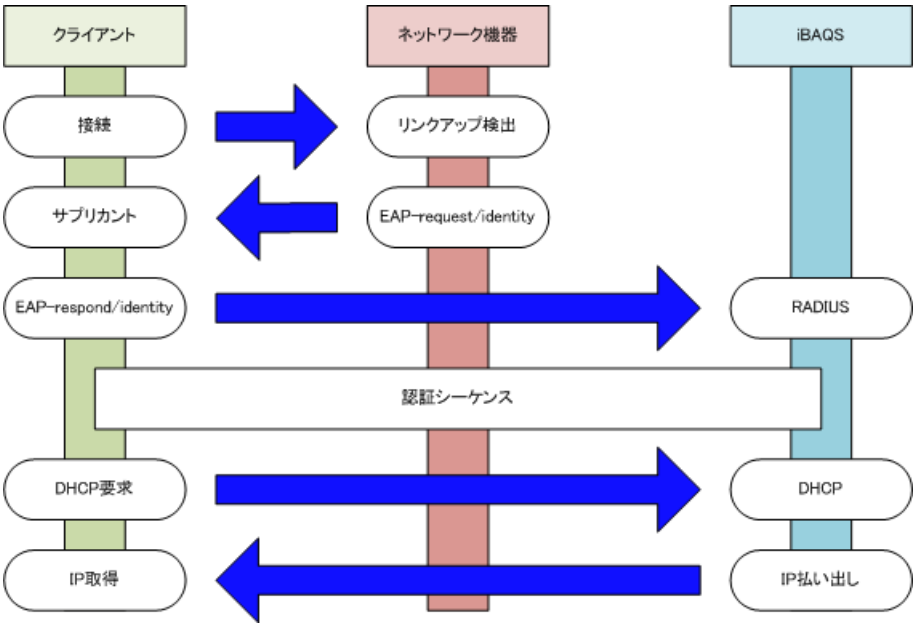
認証動作概要(MAC ベース認証の場合)

クライアントが送信する DHCP 要求をトリガーにネットワーク機器はクライアントの MAC アドレスを用いた認証要求を iBAQS-FS に出します。iBAQS-FS が認証成功を応答するとクライアントはネットワークに接続できるようになり、先ほどの DHCP 要求は iBAQS-FS に送られます。クライアントが固定 IP の場合には DHCP 要求の代わりに Gratuitous ARP が MAC ベース認証のトリガーとなります。固定 IP で運用する場合も DHCP で運用する場合と同様に iBAQS-FS にクライアントの登録が必要です。



認証動作概要(IEEE 802.1X 認証の場合)

クライアントがネットワーク機器に接続すると IEEE 802.1X 認証が開始します。認証シーケンスが成功するとクライアントはネットワークに接続できるようになり DHCP 要求を送信します。クライアントは iBAQS-FS から IP アドレスを取得し、ネットワークを利用可能な状態になります。



動作環境について

本製品を使うには、以下のハードウェアが必要です。各ハードウェアの取扱説明書をお読みのうえ、環境を確認してください。

サーバ環境（ソフトウェア版）

ハードウェア要件	- CPU：600 MHz 以上（2GHz 以上を推奨） - メモリ：512MB 以上（1GB 以上を推奨） - HDD：80GB 以上（160GB 以上を推奨） - ネットワーク：RJ-45（100BASE-TX）×1 以上 - 台数：1 台

サーバ環境（アプライアンス版）

ハードウェア仕様	- CPU： Intel®Atom™プロセッサー D510 1.66GHz - メモリ：1GB - HDD:160GB - ネットワーク：RJ-45×2（GbE×2） - USB：USB 2.0×2 - 形状：ラックマウント（1U） - 外形寸法：437(W)×249(D)×43(H)mm - 重量：4.5kg - 最大消費電力：60W

サーバ環境（共通）

OS	専用 Linux
その他	インターネットへの接続環境（アラートメールを外部へ送信する場合）

クライアント環境

クライアント	制限なし
OS	制限なし
その他	IEEE 802.1X 認証を利用する場合にはサプリカントが必要

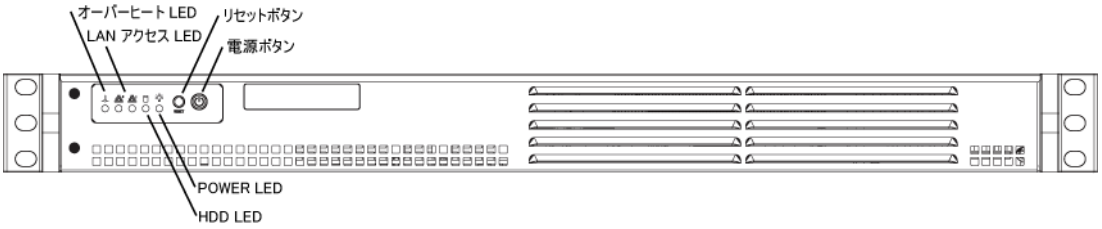
ブラウザ環境

クライアント	Microsoft® Windows® XP Microsoft® Windows® Vista Microsoft® Windows® 7
ブラウザ	Internet Explorer 6 Service Pack 1 以降 Mozilla Firefox 3.5 以降

各部の名称と働き

アプライアンス製品の各部の名称とその働きは以下の通りです。

前面



(1)オーバーヒート LED

オーバーヒート状態にあるときに点灯します。点灯した場合には周囲のエアフローを確認してください。

(2)LAN アクセス LED

ネットワークアク内蔵ハードディスクドライブのアクセス時に緑色に点灯します。

(3)HDD LED

内蔵ハードディスクドライブのアクセス時に点灯します。

(4)POWER LED

本機の通電状態を表示します。

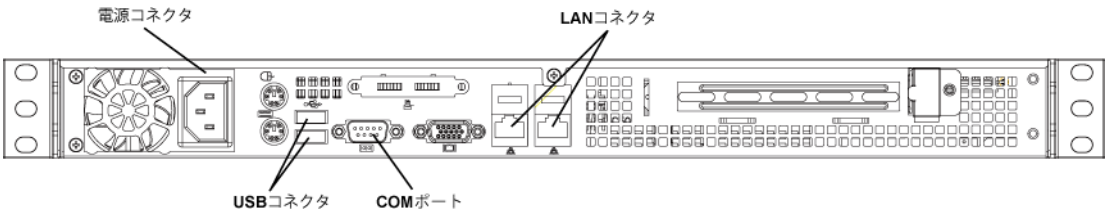
(7)リセットボタン

押すとリセットを実行します。通常は使用しないでください。

(8)電源ボタン

電源を ON/OFF するスイッチです。一度押すと POWER ランプが点灯して ON の状態になります。4 秒以上押し続けると強制的に電源を切ることができます。通常はウェブの管理画面から電源を切ってください。

背面



(1)電源コネクタ

AC コードを接続するコネクタです。

(2)USB コネクタ

USB インターフェースに対応している機器と接続します。

※本機では APC 社製 UPS との接続をサポートします。

(3) COM ポート

シリアルインターフェースを持つ装置と接続です。

※本機では使用しません

(4)LAN コネクタ

1000BASE-T/100BASE-TX/10BASE-T と接続するコネクタ

※向かって左が eth0、右が eth1 となります。

対応するネットワーク機器

本製品に対応するネットワーク機器は次の通りです。

※2010 年 7 月 現在

製造元	機種名
H3C	S シリーズ
Cisco	Catalyst シリーズ
アライドテレシス	SwitchBlade x908、x900/x600 シリーズ、CentreCOM シリーズ TenQ シリーズ
Extreme Networks	Summit シリーズ
Extricom	EXSW シリーズ
上記以外	認証スイッチ

●記載されている会社名、製品名は、各社の登録商標または商標です。

[メモ]

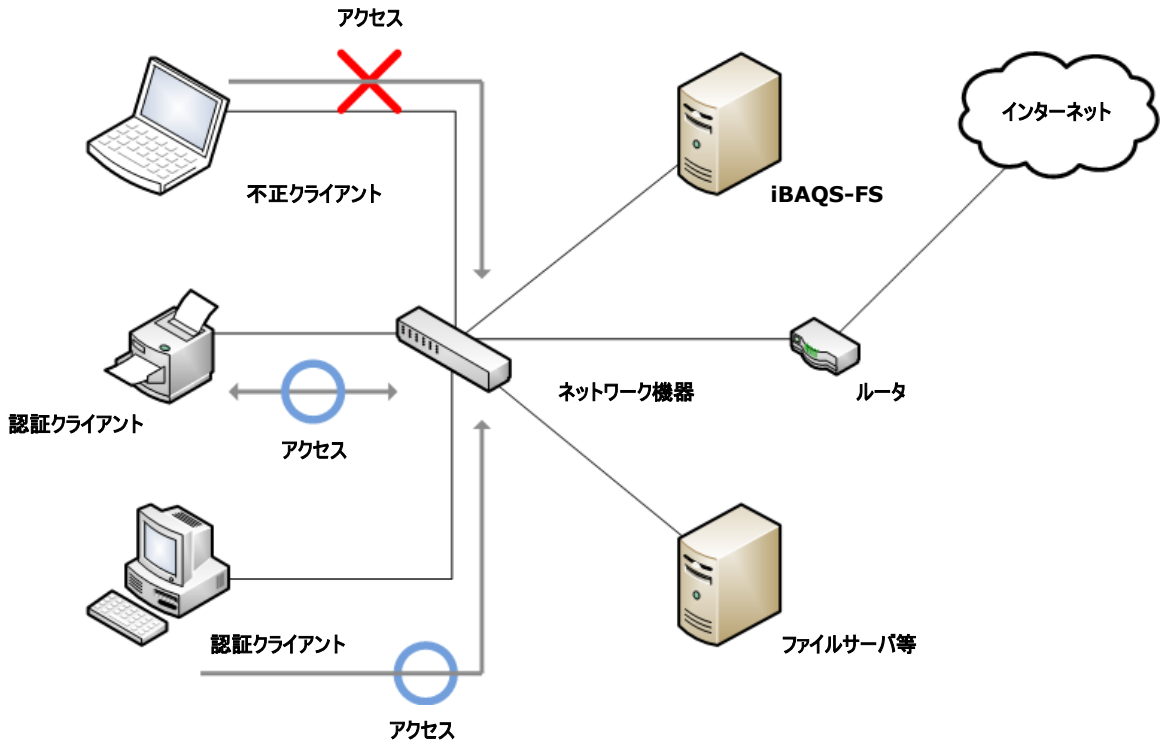
本製品は上記ネットワーク機器の機器種別によりポート番号の表示形式を変更しております。

ご利用される前に認証スイッチの取扱説明書等で認証の設定方法をご確認ください。

また、最新の対応するネットワーク機器の情報は、ホームページをご確認下さい。

システム構成について

本製品を利用する際のシステム構成は次のようになります。



環境条件

本製品を導入する際の環境条件は次の通りです。

- クライアントの IP アドレスは、自動取得(DHCP)に設定してください。
- ネットワーク機器の死活確認に ping を使用します。通信を阻害しないように設定を行ってください。

iBAQS-FS のご利用手順

iBAQS-FS のご利用手順は次の通りです。

STEP1	**システム環境を整える** ➢ iBAQS-FS をインストールします。（ソフトウェア版のみ） ➢ iBAQS-FS を設置します。 ➢ 対応するネットワーク機器を設置します。（▶ P.16）

↓

STEP2	**ライセンスキーを登録する** ライセンスキーを登録します。 ライセンス有効期限を取得するにはインターネットへの接続が必要です。

↓

STEP3	**各種設定を行う** ➢ iBAQS-FS にネットワーク機器を登録します。 ➢ iBAQS-FS に DHCP のセグメントを登録します。 ➢ iBAQS-FS にクライアントを登録します。 ➢ ネットワーク機器の設定を行います。

↓

STEP4	**動作を確認する** 登録したクライアントが正しく認証できることを確認します。 アラートメールの設定を行った場合には未登録クライアントを接続するなどしてアラートメールが正しく送信されることを確認してください。

準備

iBAQS-FS インストール. 21
ライセンスキー登録. 21
各部の名称と機能. 23
全体構成. 23
ヘッダ. 23
メニュー. 24
メイン. 25

iBAQS-FS インストール

ソフトウェア版は別紙 iBAQS-FS インストール手順書に従ってインストールを行ってください。

[メモ]

アプライアンス版では不要です。

ライセンスキー登録

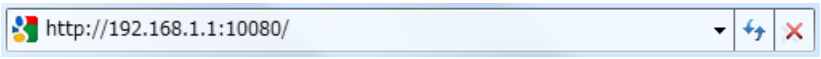
本製品にライセンスキーを登録する手順を以下に示します。

[ご注意]

お手元にライセンス証書をご用意ください。

① **iBAQS-FS と設定用のパソコンを同じスイッチ(ハブ)に接続し、iBAQS-FS の電源を入れます。**

② **ブラウザを使用して http://192.168.1.1:10080/または http://[インストール時に設定した IP アドレス]:10080/を開きます**



③ **管理者 ID でログインします**

[メモ]

初期の管理者 ID は【admin】、管理者パスワードは【password】です

④ **ライセンス証書に記載されているライセンスキーを登録します**

［⚠ご注意］

「キャンセル」を選択した場合は、ライセンスキーの登録を中止します。

⑤ **トップ画面が表示されます。**

［⚠ご注意］

アプライアンス版またはインターネットに接続できない環境に設置したソフトウェア版でライセンスキーを登録すると、管理システム接続エラーが表示されますが異常ではありません。

「OK」をクリックして

［✎メモ］

管理システムとはアイビーソリューション株式会社のアップデートサーバを指します。

以上でライセンスキー登録は終了です。

各部の名称と機能

ここでは本製品の各部の名称と機能を説明します。

全体構成

全体構成は次の通りです。

画面は 3 つの部分となる①ヘッダ、②メニュー、③メインから成り立っています。

ヘッダ

①ヘッダには、iBAQS-FS のバージョン、現在表示している画面の名称、ホスト名、現在日時を表示します。

メニュー

②メニューの構成は次の通りです。

メニュー		説明
メイン	サブ	
	不正アクセス状況	未登録でのアクセス状況や過去に削除した不正アクセス状況を表示します。
	認証失敗状況	パスワード誤りや認証方式誤りで認証失敗となったクライアントを表示します。
	サービス状態	各サービスの動作状態を表示します。
	ネットワーク機器状態	ネットワーク機器の動作状況を表示します。
	クライアント状態	クライアントの認証対象／最終認証日時を表示します。
	ログ監視	各種ログの閲覧やエクスポートを行います。
設定	サーバ設定	サーバの基本設定を行います。
	システム設定	iBAQS-FS のシステム設定を行います。
	ライセンス設定	iBAQS-FS のライセンス設定を行います。
	外部連携設定	外部との連携機能設定を行います。
	管理者設定	管理者の設定を行います。
	DHCP 設定	DHCP に関する設定を行います。
	クライアント設定	クライアントに関する設定を行います。
	ネットワーク機器設定	ネットワーク機器に関する設定を行います。
	スケジュール設定	定期的に処理するプログラムのスケジュール設定を行います。
	バックアップ設定	データベースのバックアップ情報の設定を行います。
	リストア	システム全体の復元を行います。
	アップデート	アップデート可能かどうかを確認し、アップデートを行います。

メニュー		説明
メイン	サブ	
管理	ハードウェア状態	現在のハードウェア状態を表示します。
	通信確認	ping, traceroute, nslookup のコマンドが利用可能です。
	オンライン マニュアル	本マニュアルを表示します。
	ログアウト	ログアウトを行います。

メイン

③メインには、メニューで選択した画面を表示します。各画面の内容は次章以降を参照してください。

監視

トップ. 27
不正アクセス状況. 30
認証失敗状況. 32
サービス状態. 33
ネットワーク機器状態. 35
クライアント状態. 36
ログ監視. 38
認証ログ. 40
管理ログ. 42

トップ

トップでは各種サマリー情報が表示されます。
各項目に用意されているリンクのアイコンをクリックすることで詳細を確認できます。

- インフォメーション

  インフォメーションにはシステム全体の異常有無を表示します。

- システム状況

<table>
<tr><th>項目名</th><th colspan="3"></th></tr>
<tr><td rowspan="5">ライセンス有効期限</td><td colspan="3">現在登録されているライセンスの有効期限を表示します。
有効期限が切れるとアップデート等が利用できなくなります。</td></tr>
<tr><td>状態</td><td>詳細</td><td>意味</td></tr>
<tr><td>正常</td><td>YYYY/MM/DD</td><td>有効期限まで 31 日以上ある状態</td></tr>
<tr><td>警告</td><td>YYYY/MM/DD
（期限切れまであと x 日）</td><td>有効期限まで 30 日以内の状態</td></tr>
<tr><td rowspan="2">異常</td><td>YYYY/MM/DD
（期限切れ）</td><td>有効期限切れの状態</td></tr>
<tr><td></td><td>未取得</td><td>有効期限を取得していない状態</td></tr>
</table>

<table>
<tr><th>項目名</th><th></th></tr>
<tr><td>不正アクセス状況</td><td>未対処の不正アクセス有無を表示します。
不正アクセスが検出された場合は詳細を確認し、検出した未登録クライアントを登録するかネットワークから切断して不正アクセス状況画面で削除を行ってください。
不正アクセスが検出された場合でも、検出したネットワーク機器を経由する通信は制限されますので、ネットワークは脅威から保護されています。
<table>
<tr><th>状態</th><th>詳細</th><th>意味</th></tr>
<tr><td>正常</td><td>不正アクセスは
ありません</td><td>未登録クライアントの接続がないか全て対処済の状態</td></tr>
<tr><td>異常</td><td>不正アクセスが
存在します</td><td>未登録クライアントの接続を制限した状態</td></tr>
</table></td></tr>
<tr><td>サービス状態</td><td>iBAQS-FS で利用しているサービス停止の有無を表示します。
異常が発生している場合にはサービス状態画面で停止しているサービスの起動を試みてください。
冗長構成で認証に必須のサービスが停止している場合にはフェイルオーバーが発生します。
<table>
<tr><th>状態</th><th>詳細</th><th>意味</th></tr>
<tr><td>正常</td><td>正常動作中です</td><td>全てのサービスが正常に動作している状態</td></tr>
<tr><td>異常</td><td>一部停止中です</td><td>1 つ以上のサービスが停止している状態</td></tr>
</table></td></tr>
<tr><td>ネットワーク機器状態</td><td>iBAQS-FS に登録されているネットワーク機器が ping に応答有無を表示します。
異常が発生している場合にはネットワーク機器の状態を確認してください。
<table>
<tr><th>状態</th><th>詳細</th><th>意味</th></tr>
<tr><td>正常</td><td>正常動作中です</td><td>全てのネットワーク機器が ping に応答する状態</td></tr>
<tr><td>異常</td><td>異常が発生しています</td><td>1 つ以上のネットワーク機器が ping に応答しない状態</td></tr>
</table></td></tr>
</table>

<table>
<tr><th>項目名</th><th colspan="3"></th></tr>
<tr><td>クライアント登録数</td><td colspan="3">現在登録されているクライアント数を表示します。
警告が表示されており、クライアントの追加を予定されている場合にはライセンス数の追加をご検討ください。</td></tr>
<tr><td></td><td>状態</td><td>詳細</td><td>意味</td></tr>
<tr><td></td><td>正常</td><td>N 件登録されています</td><td>ライセンス数が足りている状態</td></tr>
<tr><td></td><td>警告</td><td>N 件登録されています</td><td>登録クライアント数がライセンス数の 90%を超えている状態</td></tr>
</table>

不正アクセス状況

不正アクセス状況画面では未登録の MAC アドレスを持つクライアントがネットワークに接続した状況を確認できます。最後に不正アクセスを検出したネットワーク機器の情報が一目で把握できますので、該当ネットワーク機器の場所へ移動して未登録クライアントの特定が容易になります。検索条件による絞り込みや、登録漏れクライアントの MAC アドレスをクライアント追加へ引き渡すこともできます。

- インフォメーション

  現在の不正アクセス概要を表示します。

- 検索条件

項目名		
ソート	表示対象を検出日時でソートします。降順、昇順から選択できます。デフォルトは降順です。	
	設定値	動作
	降順	検出日時の新しいものから順に表示します。
	昇順	検出日時の古いものから順に表示します。

<table>
<tr><th>項目名</th><th colspan="2"></th></tr>
<tr><td>検出日時</td><td colspan="2">表示対象の期間を指定します。デフォルトでは開始日、終了日共に設定なしで全期間が表示対象です。開始日のみ、終了日のみの指定もできます。カレンダーのアイコン をクリックすることでポップアップカレンダーが表示され、視覚的に日時を選択することもできます。</td></tr>
<tr><td></td><td>設定値</td><td>動作</td></tr>
<tr><td></td><td>開始日</td><td>入力した開始日の 0 時 0 分からを対象とします。</td></tr>
<tr><td></td><td>終了日</td><td>入力した終了日の 23 時 59 分までを対象とします。</td></tr>
<tr><td>確認状態</td><td colspan="2">表示対象の確認状態を指定します。デフォルトは未確認です。</td></tr>
<tr><td></td><td>設定値</td><td>動作</td></tr>
<tr><td></td><td>未確認</td><td>対処の完了していない不正クライアントを表示します。</td></tr>
<tr><td></td><td>登録済</td><td>不正アクセス状況画面の登録ボタン、クライアント設定の新規追加、CSV 一括処理のいずれかの方法で登録を行ったクライアントを表示します。</td></tr>
<tr><td></td><td>削除済</td><td>ネットワークから切断し、削除処理を行った未登録クライアントを表示します。</td></tr>
</table>

- 検索結果

項目名	
エクスポートボタン	確認状態が未確認の場合のみ表示します。エクスポートボタンをクリックすると CSV 一括登録の形式で MAC アドレスの一覧を出力することができます。
検出日時	最後に検出された日時を表示します。
初期検出日時	最初に検出された日時を表示します。
MAC アドレス	検出した未登録クライアントの MAC アドレスを表示します。
確認状態	検索条件で指定した確認状態を表示します。
登録	確認状態が未確認の場合のみクライアント追加へのリンクを表示します。登録をクリックすると MAC アドレスが入力されたクライアント追加画面に遷移します。
機器名	最後に不正アクセスを検出したネットワーク機器の機器名を表示します。
設置場所	最後に不正アクセスを検出したネットワーク機器の設置場所を表示します。
機器 IP アドレス	最後に不正アクセスを検出したネットワーク機器の IP アドレスを表示します。
ポート	最後に不正アクセスを検出したネットワーク機器のポート番号を表示します。
削除	確認状態が未確認の場合のみリンクを表示します。削除をクリックすると該当クライアントの確認状態を「削除済」に変更します。

認証失敗状況

認証失敗状況ではパスワード誤りや認証方式誤り等でネットワークに接続できなかったクライアントを確認可能です。

- インフォメーション

  認証失敗状況の概要を表示します。

- 認証失敗状況

項目名	
検出日時	最後に検出された日時を表示します。
利用者名	該当クライアントの利用者名を表示します。
PC 名	該当クライアントの PC 名を表示します。
編集	クライアント編集へのリンクを表示します。編集をクリックすると該当クライアントの編集画面へ遷移します。
機器名	最後に検出したネットワーク機器の機器名を表示します。
機器 IP アドレス	最後に検出したネットワーク機器の IP アドレスを表示します。
ポート	最後に検出したネットワーク機器のポート番号を表示します。
削除	削除をクリックすると該当クライアントを一覧から削除します。

サービス状態

サービス状態では iBAQS-FS の動作に必要なサービスの稼働状況を確認できます。何らかの理由でサービスが停止している場合には起動ボタンにより起動を試みることができます。
※冗長構成時に冗長対象のサービスが停止するとフェイルオーバーが発生します。

- インフォメーション

  サービス全体の動作概要を表示します。

- サービス状態

  サービスの稼働状況を状態に正常 、異常 で表示します。異常 のサービスは起動に表示される起動ボタンで起動できます。冗長構成時には冗長監視サービスがフェイルオーバー対象のサービスを約 10 秒に 1 回監視しており、異常が発生すると約 5 秒に 1 回の監視に切り替わります。連続で 3 回異常を確認した場合にはシャットダウンを行い、ピアサーバに業務を引き継ぎます。縮退運転時にはスタンドアロンと同じ動作となり、シャットダウンは行われません。

項目	説明
DHCP	クライアントに IP アドレスや DNS の情報を払い出します。
NTP	iBAQS-FS の時刻を上位の ntp サーバに同期します。
LDAP	認証用のデータが格納されています。
データベース	設定情報やログが格納されています。
RADIUS	ネットワーク機器からの認証要求に応答します。
不正アクセス検出サービス	認証ログの失敗の中から未登録クライアントの抽出を行い、不正アクセス状況の更新、アラートメールの送信を行います。
UPS 制御サービス（UPS 連携時）	UPS と通信を行い、UPS が商用電源の異常を検出するとシャットダウンを行います。
SNMP ｴｰｼﾞｪﾝﾄｻｰﾋﾞｽ（SNMP 連携時）	SNMP エージェントとして動作し、各種情報を SNMP マネージャに提供します。

ネットワーク機器状態

ネットワーク機器状態では登録されているネットワーク機器に対して定期的に行っている ping による通信確認の結果を確認することができます。また、各ネットワーク機器に適用されている通信制限の状況を確認する画面へのリンクを提供します。

- インフォメーション

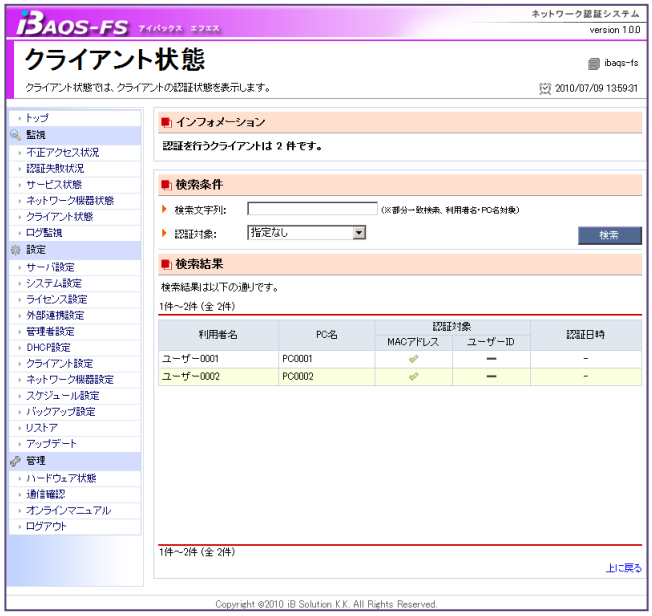
  ネットワーク機器全体の稼働状態概要を表示します。

- ネットワーク機器状態

項目	説明		
機器名	ネットワーク機器登録時に選択した機器名（機種名）が表示されます。		
機器 IP アドレス	ネットワーク機器の IP アドレスを表示します。		
設置場所	ネットワーク機器登録時に入力した設置場所が表示されます。		
状態、詳細	ネットワーク機器の異常有無を表示します。		
	状態	詳細	意味
	正常	正常に動作しています。	直前に行われたネットワーク機器監視処理の ping に応答する状態
	異常	異常が発生しています。	直前に行われたネットワーク機器監視処理の ping に応答しない状態

クライアント状態

クライアント状態ではクライアントの認証対象および最終認証日時を確認できます。



- インフォメーション

  インフォメーションには認証対象のクライアント数が表示されます。

- 検索条件

<table>
<tr><th>項目</th><th colspan="2">説明</th></tr>
<tr><td>検索文字列</td><td colspan="2">利用者名またはPC名から指定した文字列を含むクライアントを検索します。
デフォルトは空白で絞り込みを行いません。
半角全角問わず最大50文字まで指定可能で、部分一致検索です。
長い文字列を入力した場合には全体を表示できない場合がありますので、カーソルキー等を利用してスクロールしてください。</td></tr>
<tr><td rowspan="4">認証対象</td><td colspan="2">クライアントの認証対象によって絞り込みを行います。</td></tr>
<tr><td>設定値</td><td>動作</td></tr>
<tr><td>指定なし</td><td>認証対象による絞り込みを行いません。</td></tr>
<tr><td>MACアドレス認証</td><td>MAC アドレスが認証対象となっているクライアントを表示します。</td></tr>
<tr><td>ユーザー認証</td><td>ユーザーIDが認証対象となっているクライアントを表示します。</td></tr>
</table>

- 検索結果

項目	説明
利用者名	利用者名を表示します。
PC名	PC名を表示します。
認証対象	クライアントの認証対象をMAC、ユーザーの2列で表示します。 認証対象となっている項目には を、認証対象となっていない項目には を表示します。
認証日時	最後に認証を受けた日時を表示します。認証に失敗した場合には"-"（ハイフン）に変化します。

ログ監視

ログ監視では各種ログへのリンク、各種ログのエクスポート機能を提供します。

- インフォメーション

  インフォメーションには説明が表示されます。

- 各種ログ 閲覧

項目	説明
認証ログ 	認証ログ画面へ移動します。 認証ログ画面ではクライアントの認証履歴を一覧で表示します。
管理ログ 	管理ログ画面へ移動します。 管理ログ画面では管理画面でのオペレーション履歴を一覧で表示します。

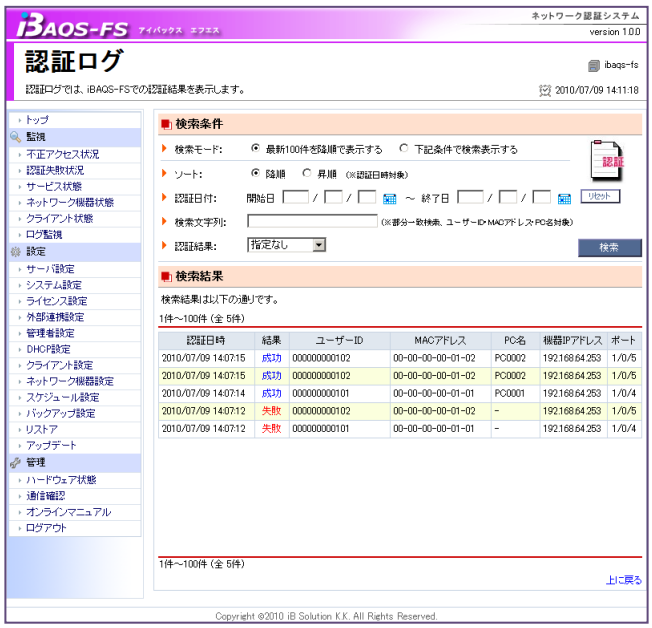
- 各種ログ エクスポート

  各種ログを CSV ファイルとしてエクスポートすることができます。

項目	説明	
ログファイル	エクスポート対象のログを選択します。	
	設定値	動作
	認証ログ	認証ログをエクスポートします。
	管理ログ	管理ログをエクスポートします。
日付	エクスポート対象の期間を入力します。デフォルトでは開始日、終了日共に設定なしで全期間が表示対象です。開始日のみ、終了日のみの指定もできます。カレンダーのアイコン をクリックすることでポップアップカレンダーが表示され、視覚的に日時を選択することもできます。	
	開始日	入力した開始日の 0 時 0 分からを対象とします。
	終了日	入力した終了日の 23 時 59 分までを対象とします。

認証ログ

認証ログではクライアントが認証を受けた履歴を一覧で確認することができます。また、多彩な検索機能により目的の履歴をピンポイントで表示することもできます。



- 検索条件

項目	説明	
検索モード	検索する方法を指定します。	
	設定値	動作
	最新 100 件を降順で表示する	絞り込みを行わず最新 100 件を新しい順に表示します。
	下記条件で検索表示する	ソート、認証日付、検索文字列、認証結果による絞り込みを行い、該当するログを全件表示します。1 ページの最大表示件数は 100 件です。
ソート	表示対象を検出日時でソートします。降順、昇順から選択できます。デフォルトは降順です。	
	設定値	動作
	降順	検出日時の新しいものから順に表示します。
	昇順	検出日時の古いものから順に表示します。

<table>
<tr><th>項目</th><th>説明</th></tr>
<tr><td>検出日時</td><td>表示対象の期間を指定します。デフォルトでは開始日、終了日共に設定なしで全期間が表示対象です。開始日のみ、終了日のみの指定もできます。カレンダーのアイコン をクリックすることでポップアップカレンダーが表示され、視覚的に日時を選択することもできます。
<table>
<tr><th>設定値</th><th>動作</th></tr>
<tr><td>開始日</td><td>入力した開始日の 0 時 0 分からを対象とします。</td></tr>
<tr><td>終了日</td><td>入力した終了日の 23 時 59 分までを対象とします。</td></tr>
</table></td></tr>
<tr><td>検索文字列</td><td>ユーザーID、MAC アドレス、PC 名から指定した文字列を含むログを検索します。
デフォルトは空白で絞り込みを行いません。
半角全角問わず最大 50 文字まで指定可能で、部分一致検索です。
長い文字列を入力した場合には全体を表示できない場合がありますので、カーソルキー等を利用してスクロールしてください。</td></tr>
<tr><td>認証結果</td><td>表示対象の確認状態を指定します。デフォルトは指定なしです。
<table>
<tr><th>設定値</th><th>動作</th></tr>
<tr><td>指定なし</td><td>認証結果が成功、失敗ともに表示します。</td></tr>
<tr><td>成功</td><td>認証結果が成功のみを表示します。</td></tr>
<tr><td>失敗</td><td>任所結果が失敗のみを表示します。</td></tr>
</table></td></tr>
</table>

- 検索結果

項目	説明
認証日時	認証を受けた日時を表示します。
結果	認証の結果を成功、失敗で表示します。
ユーザーID	認証に利用されたユーザーID を表示します。
MAC アドレス	クライアントの MAC アドレスを表示します。 RADIUS の要求に含まれている Calling-Station-Id を記録しています。
PC 名	認証を受けたクライアントが登録済であれば PC 名が表示されます。未登録であれば"-"（ハイフン）を表示します。
機器 IP アドレス	認証を受けたネットワーク機器の IP アドレスを表示します。
ポート	認証を受けたネットワーク機器のポート番号を表示します。選択いただいた機種種別によりポート番号の表示形式は異なります。

管理ログ

管理ログでは管理画面で行われたオペレーションの履歴を確認することができます。

- 検索条件

<table>
<tr><th>項目</th><th colspan="2">説明</th></tr>
<tr><td rowspan="4">検索モード</td><td colspan="2">検索する方法を指定します。</td></tr>
<tr><td>設定値</td><td>動作</td></tr>
<tr><td>最新 100 件を
降順で表示する</td><td>絞り込みを行わず最新 100 件を新しい順に表示します。</td></tr>
<tr><td>下記条件で
検索表示する</td><td>ソート、日付による絞り込みを行い、該当するログを全件表示します。1 ページの最大表示件数は 100 件です。</td></tr>
<tr><td rowspan="4">ソート</td><td colspan="2">表示対象を検出日時でソートします。降順、昇順から選択できます。デフォルトは降順です。</td></tr>
<tr><td>設定値</td><td>動作</td></tr>
<tr><td>降順</td><td>検出日時の新しいものから順に表示します。</td></tr>
<tr><td>昇順</td><td>検出日時の古いものから順に表示します。</td></tr>
<tr><td rowspan="4">日時</td><td colspan="2">表示対象の期間を指定します。デフォルトでは開始日、終了日共に設定なしで全期間が表示対象です。開始日のみ、終了日のみの指定もできます。カレンダーのアイコン をクリックすることでポップアップカレンダーが表示され、視覚的に日時を選択することもできます。</td></tr>
<tr><td>設定値</td><td>動作</td></tr>
<tr><td>開始日</td><td>入力した開始日の 0 時 0 分からを対象とします。</td></tr>
<tr><td>終了日</td><td>入力した終了日の 23 時 59 分までを対象とします。</td></tr>
</table>

- 検索結果

項目	説明
日時	操作を行った日時を表示します。
ログ内容	操作の内容を表示します。

設定

サーバ設定 46
システム設定 49
ライセンス設定 52
外部連携設定 54
UPS 連携設定 55
SNMP マネージャ連携設定 56
管理者設定 58
DHCP 設定 60
セグメント追加 62
セグメント編集 64
セグメント削除 66

設定

クライアント設定. 67
クライアント追加. 69
クライアント一括変更. 72
クライアント一括削除. 77
クライアント編集. 78
クライアント削除. 80
ネットワーク機器設定. 82
ネットワーク機器追加. 84
ネットワーク機器編集. 86
ネットワーク機器削除. 88
スケジュール設定. 89
バックアップ設定. 92
リストア. 95
アップデート. 97

サーバ設定

サーバ設定では IP アドレスやホスト名等、固有の設定内容を変更できます。基本、その他、再起動、シャットダウンのタブを用意しており、再起動、シャットダウンタブでは iBAQS-FS の再起動、シャットダウンを行うためのボタンを設けています。

- インフォメーション

  操作の概要を表示します。

- 設定状況

<table>
<tr><th>項目</th><th colspan="3">説明</th></tr>
<tr><td>使用 LAN インターフェース</td><td colspan="3">RADIUS が待ち受けを行うインターフェースを指定します。再起動等で表示されるリンクも指定したインターフェースの IP アドレスで表示されます。</td></tr>
<tr><td></td><td>設定値</td><td colspan="2">意味</td></tr>
<tr><td></td><td>eth[n]</td><td colspan="2">iBAQS-FS を後ろから見て左から n 番目の RJ-45 コネクタを RADIUS 待ち受けインターフェースとして使用します。</td></tr>
<tr><td>eth[n]</td><td colspan="3">iBAQS-FS を後ろから見て 0 は右側、1 は左側の RJ-45 コネクタに対するネットワーク情報を設定します。ソフトウェア版はこの限りではありません。</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td>設定値</td><td>動作</td></tr>
<tr><td></td><td rowspan="2">使用</td><td>する</td><td>インターフェースを使用します。IP アドレス、サブネットマスクの入力が必要になります。</td></tr>
<tr><td></td><td>しない</td><td>インターフェースを使用しません。IP アドレス、サブネットマスクの入力は不要です。少なくとも 1 つのインターフェースは使用するに設定する必要があります。</td></tr>
<tr><td></td><td>IP アドレス</td><td>IPv4 アドレス</td><td>ネットワークアドレスやブロードキャストアドレス、ネットワーク機器やクライアント等と重複する IP アドレスは設定できません。デフォルトは 192.168.1.1 です。</td></tr>
<tr><td></td><td>サブネットマスク</td><td>IPv4 サブネットマスク</td><td>ネットワーク空間の大きさを決めるサブネットマスクを設定します。不正な値が入力された場合にはエラーとなります。デフォルトは 255.255.255.0 です。</td></tr>
<tr><td>デフォルトゲートウェイ</td><td colspan="3">他のセグメントと通信する際に利用するルータのアドレスを設定します。
デフォルトは 192.168.1.254 です。</td></tr>
<tr><td>ログ内容</td><td colspan="3">操作の内容を表示します。</td></tr>
<tr><td>ホスト名</td><td colspan="3">ホスト名を設定します。冗長構成時にはピアサーバと重複しないように設定してください。デフォルトは iBAQS-FS です。</td></tr>
<tr><td>セッションタイマー時間</td><td colspan="3">管理画面の無操作によるタイムアウト時間を設定します。デフォルトは 30 分です。</td></tr>
<tr><td>DNS</td><td colspan="3">iBAQS-FS が利用する DNS サーバを設定します。Primary は必須入力です。Secondary を入力せずに Tertiary を入力した場合、設定後に設定値は Secondary に反映されます。デフォルトは 192.168.1.254 です。</td></tr>
</table>

項目	説明	
タイムサーバ	iBAQS-FS が時刻同期に使用する NTP サーバを設定します。1 は必須入力です。2 を入力せずに 3 を入力した場合、設定後に設定値は 2 に反映されます。デフォルトは 192.168.1.254 です。	
プロキシサーバ	iBAQS-FS がアップデートサーバと通信する際に使用するプロキシサーバを設定します。デフォルトはプロキシサーバを使用しません。	
	設定値	動作
使用	する	プロキシサーバを使用します。ホスト、ポートの入力は必須です。
	しない	プロキシサーバを使用しません。ホスト、ポートの入力は不要です。
ホスト	IPv4 アドレス または FQDN	使用がするの場合に設定値のプロキシサーバを利用します。デフォルトは空白です。
ポート	1-65535	使用がするの場合に設定値のポート番号を利用します。デフォルトは空白です。

システム設定

システム設定では iBAQS-FS の動作に関連する設定を行います。

- インフォメーション

  操作の概要を表示します。

- 設定状況

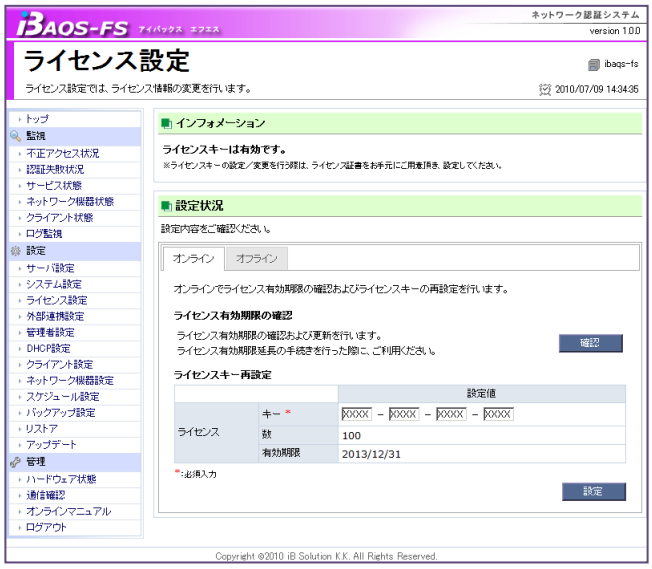
項目	説明
ログ保持期間	サーバ内にログを蓄積する日数を設定します。0 日から 365 日まで指定可能で、デフォルトは 90 日です。設定日数を越えるログが削除対象となるため、0 日を指定してもログ削除処理実行当日分は削除されません。

項目	説明	
syslog サーバ	RADIUS と DHCP のログを外部の syslog サーバに出力することができます。syslog サーバへの出力を利用するにはホスト、ポート、ファシリティを入力し、使用するに設定します。	
	設定値	動作
使用	する	syslog サーバへのログ出力を行います。
	しない	syslog サーバへのログ出力を行いません。
ホスト	IPv4 アドレス または FQDN	syslog サーバの IP アドレスを設定します。FQDN で指定する場合には通信確認の nslookup から名前解決できることを確認してください。デフォルトは空白です。
ポート	1-65535	syslog サーバの待ち受けポートを指定します。デフォルトは 514 です。
ファシリティ	local0～local6	syslog サーバへ出力する際のファシリティを設定します。デフォルトは local0 です。
パスワードロック	クライアントがユーザーID による認証を行う場合でかつパスワードの有効期限を設定した場合に指定した日数を経過したクライアントのパスワードをロックします。パスワードがロックされると該当クライアントは認証に失敗しますのでご注意ください。判定はクライアント状態監視処理にて行われます。	
	設定値	動作
パスワードロック	する	パスワードロック機能を利用します。
	しない	パスワードロック機能を使用しません。
日数	0-9999	パスワードロック実行までの猶予期間を設定します。

項目	説明
アラートメール	管理者設定で設定したメールアドレスに対して各状況に応じたアラートメールを送信することができます。
不正アクセスメール	チェックすると未登録クライアントのネットワーク接続を検出した際にアラートメールを送信します。指定した間隔の間に同一クライアントからの不正アクセスが発生した場合には再送を行いません。再送間隔の設定は 0 分から 99 分まで設定できます。デフォルトは 5 分です。0 を指定した場合には検出の都度アラートメールを送信します。
アップデート有の場合	チェックするとアップデート確認処理実行時に新規アップデートを検出するとアラートメールを送信します。
認証有効期限切れ	チェックするとクライアント状態監視処理実行時に指定された日数で認証有効期限の切れるクライアントを検出するとアラートメールを送信します。送信は該当した場合に 1 回のみ行われます。日数は 0 日から 99 日まで設定できます。デフォルトは 7 日です。
パスワード期限切れ（管理者）	チェックするとクライアント状態監視処理実行時に指定された日数でパスワード有効期限の切れるクライアントを検出すると管理者宛にアラートメールを送信します。送信は該当した場合に 1 回のみ行われます。日数は 0 日から 99 日まで設定できます。デフォルトは 3 日です。
パスワード期限切れ（利用者）	チェックするとクライアント状態監視処理実行時に指定された日数でパスワード有効期限の切れるクライアントを検出すると利用者宛にアラートメールを送信します。送信は該当した場合に 1 回のみ行われます。日数は 0 日から 99 日まで設定できます。デフォルトは 7 日です。クライアント設定でメールアドレスが入力されていない場合には送信されません。
システム異常時	チェックするとシステムの異常を検出するとアラートメールを送信します。

ライセンス設定

ライセンス設定では登録されているライセンスキー、ライセンス数、ライセンス有効期限を確認、更新することができます。



- インフォメーション

  ライセンスキーの状態を表示します。

- ライセンス有効期限 確認

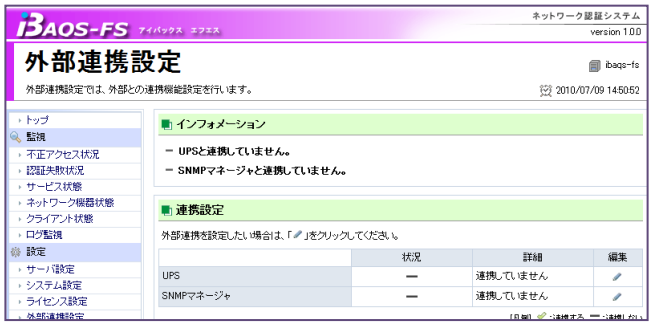
  ライセンス数の変更を伴わずにライセンス有効期限の延長手続きを行われた場合にはライセンスキーは変更となりません。事前に有効期限を反映したい場合には確認ボタンをクリックします。アップデートサーバへ http による通信を行いますので、iBAQS-FS が外部と通信できる環境に設置してください。プロキシサーバ経由の確認もできます。インターネットに接続できない環境でご利用になっている場合には別途オフライン用更新ファイルを提供しております。ご希望の方は iBAQS-FS 製品サイトをご覧ください。

- 設定状況

項目	説明
ライセンスキー	ライセンス証書に記載されているライセンスキーを設定します。アップグレードライセンスを購入された場合にはライセンスキーが変更となりますので、本項目で変更してください。
ライセンス数	登録可能な最大クライアント数を表示します。ライセンス数を増やすにはアップグレードライセンスをご購入いただき、新しいライセンスキーを入手いただきますようよろしくお願いいたします。
ライセンス有効期限	ライセンスキーの有効期限を表示します。ライセンス有効期限が切れますとアップデートやサポートを受けることが出来ません。有効期限の延長に関しては販売店までお問い合わせください。

外部連携設定

外部連携設定では UPS 制御、SNMP マネージャの動作に関して設定を行います。



- インフォメーション

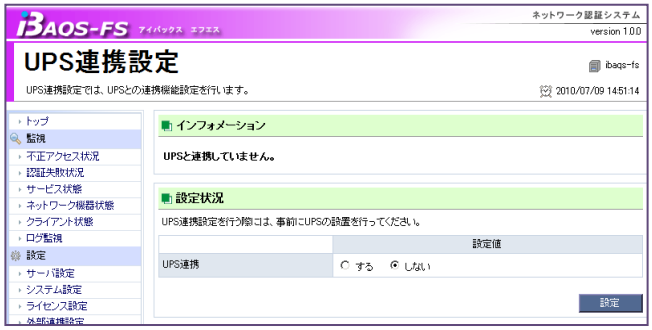
  現在の連携状態を表示します。

- 連携設定

項目	説明		
UPS	UPS 制御の状態確認、設定変更ができます。設定変更は編集のアイコン　をクリックして別画面で行います。		
	状況	詳細	意味
	連携する	連携しています。	UPS 制御を行う設定が有効です。
	連携しない	連携していません。	UPS 制御を行う設定が無効です。
SNMP マネージャ	SNMP マネージャに情報を提供する SNMP エージェントの状態確認、設定変更を行います。設定変更は編集のアイコン　をクリックして別画面で行います。		
	状況	詳細	意味
	連携する	連携しています。	SNMP エージェントは有効です。
	連携しない	連携していません。	SNMP エージェントは無効です。

UPS 連携設定

UPS 連携設定では UPS 制御の設定を変更できます。制御可能なのは APC 社の UPS で Back-UPS、Smart-UPS、CS シリーズ、ES シリーズです。バッテリー運転を 60 秒続けるとシャットダウン処理を開始します。商用電源回復後の自動通電が必要な場合、ES シリーズ以外をご使用ください。iBAQS-FS との接続は USB のみをサポートします。UPS が接続されていない状態で UPS 連携を有効にすることは出来ません。



- インフォメーション

  UPS 連携の状態を表示します。

- 設定状況

項目	説明	
UPS 連携	UPS 連携の有効、無効を設定できます。バッテリー運転を検出してからシャットダウンを開始するまでの時間は 60 秒固定です。USB で接続された APC 社製の UPS が接続されていないときにはするに設定することが出来ません。	
	設定値	動作
	する	UPS 制御ソフトウェアを有効にし、UPS と連携します。
	しない	UPS 制御ソフトウェアを無効にし、UPS と連携しません。

SNMP マネージャ連携設定

SNMP マネージャ連携設定では SNMP エージェントの設定を行います。SNMP マネージャから iBAQS-FS の情報を取得するには SNMP マネージャ連携を有効にしてください。

- インフォメーション

  SNMP マネージャ連携の状態を表示します。

- 設定状況

項目	説明	
SNMP マネージャ連携	SNMP エージェントの有効、無効を設定します。デフォルトはしないです。	
	設定値	動作
	する	SNMP エージェントを有効にし、SNMP マネージャと連携します。
	しない	SNMP エージェントを無効にし、SNMP マネージャと連携しません。

項目	説明	
コミュニティ名	SNMP マネージャが read 権限でアクセスするためのコミュニティ名を設定します。1 文字から 15 文字まで設定できます。write 権限でアクセスすることは出来ません。デフォルトは public です。	
マネージャ IP アドレス[n]	アクセスを許可する SNMP マネージャを IP アドレスとネットワーク空間で 2 つまで設定することができます。SNMP マネージャ連携を有効にする場合には 1 つ以上のマネージャ IP アドレスを設定しなければなりません。	
	選択項目	設定内容
	指定なし	マネージャ IP アドレスを設定しません。
	IP アドレス	IPv4 アドレスを設定します。
	ネットワーク空間	始点アドレスとアドレス空間を表すサブネットマスクを設定します。実際のサブネットと異なる設定もできます。接続可能なアドレスに始点アドレスと終点アドレスも含まれます。
システム設置場所	SNMP マネージャが機器の設置場所(SNMPv2-MIB::sysLocation)を問い合わせた際に使われます。デフォルトは空白です。	
システム管理責任者	SNMP マネージャが機器の管理責任者(SNMPv2-MIB::sysContact)を問い合わせた際に使われます。デフォルトは空白です。	

管理者設定

管理者設定では iBAQS-FS を管理するに当たり必要な情報を設定します。

- インフォメーション

  操作の概要を表示します。

- 設定状況

項目	説明
管理者 ID	管理画面へログインするためのユーザーID を設定します。1 文字から 20 文字まで設定できます。デフォルトは manager です。
管理者パスワード	管理者 ID でログインするためのパスワードを設定します。ポップアップダイアログでパスワードを入力します。6 文字から 20 文字まで設定できます。デフォルトは friend です。
管理者メールアドレス	システム設定で選択したアラートメールを送信する宛先を設定します。PC 用、携帯電話用のフォーマットが用意されています。","（カンマ）を用いて複数のアドレスにメールを送信することができます。PC 用、携帯電話用ともに 250 文字まで設定できます。デフォルトは空白です。

項目	説明	
SMTP サーバ	アラートメールを送信する際に利用する SMTP サーバを設定します。IPv4 アドレスまたは FQDN で設定します。デフォルトは空白です。	
メール認証	送信の際に手続きの必要な SMTP サーバを利用する場合に設定します。SMTP 認証と POP before SMTP をサポートします。デフォルトはなしです。	
	利用	動作
	なし	iBAQS-FS から無条件でリレー可能な SMTP サーバを設定してください。
	SMTP 認証	メールを送信する前に認証を受けます。ユーザーID、パスワードを設定してください。
	POP before SMTP	POP サーバで認証を受けた後にメールの送信を行います。ユーザーID、パスワード、POP サーバを設定してください。
アクセス制御	管理者としてログイン可能なネットワークを限定する場合に設定します。IP アドレス、ネットワーク空間は 3 つまで設定できます。デフォルトはしないです。	
		動作
	する	アクセス制御ネットワーク 1～3 で指定したネットワーク以外からの管理者ログインを制限します。
	しない	管理者ログインを制限しません。
アクセス制御ネットワーク[n]	管理者ログインを許可するネットワークを IP アドレスとネットワーク空間で 3 つまで設定することができます。アクセス制御を有効にする場合は 1 つ以上のアクセス制御ネットワークを設定しなければなりません。	
	選択項目	設定内容
	指定なし	アクセス制御ネットワークを設定しません。
	IP アドレス	IPv4 アドレスを設定します。
	ネットワーク空間	始点アドレスとアドレス空間を表すサブネットマスクを設定します。実際のサブネットと異なる設定もできます。接続可能なアドレスに始点アドレスと終点アドレスも含まれます。

DHCP 設定

DHCP 設定では DHCP サーバの設定をします。基本タブは全セグメント共通の設定項目となります。セグメントタブの一番上に表示される iBAQS-FS の所属するセグメントはシステムの動作に必要なので削除できません。

- インフォメーション

  現在登録されているセグメント数を表示します。

- 設定状況

項目	説明
DHCP 機能	セグメントの名前を表示します。
リース時間	DHCP サーバがクライアントに払い出す IP アドレスのリース時間を設定します。セグメント毎にも設定可能で、セグメントに設定した値が優先されます。1 分から 6 日 23 時間 59 分までまで設定できます。デフォルトは 1 日です。
DNS	DHCP サーバがクライアントに払い出す DNS サーバの情報を設定します。セグメント毎にも設定可能で、セグメントに設定した値が優先されます。Primary、Secondary を空白に設定し、Tertiary に値を入れた場合、設定後は Primary に反映されます。デフォルトは空白です。

項目	説明
WINS	DHCP サーバがクライアントに払い出す WINS サーバの情報を設定します。セグメント毎にも設定可能で、セグメントに設定した値が優先されます。 Primary、Secondary を空白に設定し、Tertiary に値を入れた場合、設定後は Primary に反映されます。デフォルトは空白です。
セグメント名	セグメントの名前を表示します。
モード	DHCP モードを表示します。
ネットワーク	セグメントのネットワークアドレスを表示します。
サブネット	セグメントのサブネットマスクを表示します。
ゲートウェイ	セグメントのデフォルトゲートウェイを表示します。
編集	アイコン をクリックすると該当セグメントの編集を行うことができます。
削除	アイコン をクリックすると該当セグメントの削除を行うことができます。

セグメント追加

セグメント追加では DHCP サーバで扱うネットワークの追加を行います。追加を行ったネットワークからの DHCP 要求が iBAQS-FS にリレーされるようにルータ、L3 スイッチ等を適切に設定してください。

- インフォメーション

  操作の概要を表示します。

- 設定状況

項目	説明
セグメント名	セグメントの名前を設定します。1 文字から 30 文字まで設定できます。全角文字も 1 字で数えます。
ネットワークアドレス	セグメントのネットワークアドレスを設定します。他のセグメントと重なるネットワークは設定できません。
サブネットマスク	セグメントのサブネットマスクを設定します。
デフォルトゲートウェイ	セグメントのデフォルトゲートウェイを設定します。セグメントのネットワーク範囲外のアドレスは指定できません。DHCP サーバからクライアントにデフォルトゲートウェイのアドレスとして渡されます。デフォルトは空白です。

項目	説明	
DHCP モード	DHCP の動作を設定します。	
	設定値	動作
	固定割当	MAC アドレスに対応した IP アドレスを固定的に割り当てます。当セグメントに所属するクライアントは MAC アドレスと IP アドレスの入力が必須となります。
	ダイナミック割当	未知の MAC アドレスに対しても払い出し範囲から IP アドレスを割り当てます。当セグメントに所属していないクライアントに対しても IP アドレスを割り当てるため非認証ポートの存在するセグメントでの利用は注意が必要です。
	特定割当	既知の MAC アドレスに対してのみ払い出し範囲から IP アドレスを割り当てます。当セグメントに所属するクライアントは MAC アドレスの入力が必須となります。 ※特定割当は ver.1.0.1 以降、複数セグメントに設定できるようになりました。
払い出し範囲	IP アドレスの払い出し範囲の始点アドレス、終点アドレスを設定します。1 セグメントあたり 10 の払い出し範囲を設定することが可能です。DHCP モードがダイナミック割当、特定割当の場合に表示されます。	
リース時間	セグメント単位でリース時間を変更する場合には設定します。1 分から 6 日 23 時間 59 分まで設定できます。デフォルトは空白で、DHCP 設定の基本タブで設定したリース時間が有効です。	
DNS	セグメント単位で別の DNS サーバの情報をクライアントに渡す場合には DNS を設定します。設定覧の右に DHCP 設定の基本タブで設定した DNS を表示します。DNS を 1 つでも設定するとデフォルト DNS は継承されなくなりますのでご注意ください。	
WINS	セグメント単位で別の WINS サーバの情報をクライアントに渡す場合には WINS を設定します。設定覧の右に DHCP 設定の基本タブで設定した WINS を表示します。WINS を 1 つでも設定するとデフォルト WINS は継承されなくなりますのでご注意ください。	

セグメント編集

セグメント編集では登録済のセグメント情報を更新します。

- インフォメーション

  操作の概要を表示します。

- 設定状況

項目	説明
セグメント名	セグメントの名前を設定します。1 文字から 30 文字まで設定できます。全角文字も 1 字で数えます。
ネットワークアドレス	セグメントのネットワークアドレスを設定します。他のセグメントと重なるネットワークは設定できません。サーバセグメントと同一のセグメントは変更できません。サーバ設定から変更してください。
サブネットマスク	セグメントのサブネットマスクを設定します。サーバセグメントと同一のセグメントは変更できません。サーバ設定から変更してください。
デフォルトゲートウェイ	セグメントのデフォルトゲートウェイを設定します。セグメントのネットワーク範囲外のアドレスは指定できません。DHCP サーバからクライアントにデフォルトゲートウェイのアドレスとして渡されます。デフォルトは空白です。サーバセグメントと同一のセグメントは変更できません。サーバ設定から変更してください。

項目	説明	
DHCP モード	DHCP の動作を設定します。	
	設定値	動作
	固定割当	MAC アドレスに対応した IP アドレスを固定的に割り当てます。当セグメントに所属するクライアントは MAC アドレスと IP アドレスの入力が必須となります。
	ダイナミック割当	未知の MAC アドレスに対しても払い出し範囲から IP アドレスを割り当てます。当セグメントに所属していないクライアントに対しても IP アドレスを割り当てるため非認証ポートの存在するセグメントでの利用は注意が必要です。
	特定割当	既知の MAC アドレスに対してのみ払い出し範囲から IP アドレスを割り当てます。当セグメントに所属するクライアントは MAC アドレスの入力が必須となります。 ※特定割当は ver.1.0.1 以降、複数セグメントに設定できるようになりました。
払い出し範囲	IP アドレスの払い出し範囲の始点アドレス、終点アドレスを設定します。1 セグメントあたり 10 の払い出し範囲を設定することが可能です。DHCP モードがダイナミック割当、特定割当の場合に表示されます。	
リース時間	セグメント単位でリース時間を変更する場合には設定します。1 分から 6 日 23 時間 59 分まで設定できます。デフォルトは空白で、DHCP 設定の基本タブで設定したリース時間が有効です。	
DNS	セグメント単位で別の DNS サーバの情報をクライアントに渡す場合には DNS を設定します。設定覧の右に DHCP 設定の基本タブで設定した DNS を表示します。DNS を 1 つでも設定するとデフォルト DNS は継承されなくなりますのでご注意ください。	
WINS	セグメント単位で別の WINS サーバの情報をクライアントに渡す場合には WINS を設定します。設定覧の右に DHCP 設定の基本タブで設定した WINS を表示します。WINS を 1 つでも設定するとデフォルト WINS は継承されなくなりますのでご注意ください。	

セグメント削除

セグメント削除では登録済のセグメントを削除します。

- インフォメーション

  セグメント削除に当たっての注意事項を表示します。

- 設定状況

  削除するセグメントの情報を表示します。間違いがなければ削除ボタンで削除を実行してください。

項目	説明
セグメント名	セグメントの名前を表示します。
ネットワークアドレス	セグメントのネットワークアドレスを表示します。
サブネットマスク	セグメントのサブネットマスクをひょじします。
デフォルトゲートウェイ	セグメントのデフォルトゲートウェイを表示します。
DHCP モード	セグメントの DHCP モードを表示します。
払い出し範囲	セグメントの払い出し範囲を表示します。
リース時間	セグメントのリース時間を表示します。
DNS	セグメントの DNS 払い出し情報を表示します。
WINS	セグメントの WINS 払い出し情報を表示します。

クライアント設定

クライアント設定では登録されているクライアントの確認、新規追加、編集、一括変更、削除、一括削除を行えます。

- インフォメーション

  現在登録されているクライアント数が表示されます。

- 検索条件

項目	説明
検索文字列	利用者名、PC 名から指定した文字列を含むクライアントを検索します。デフォルトは空白で絞り込みを行いません。 半角全角問わず最大 50 文字まで指定可能で、部分一致検索です。 長い文字列を入力した場合には全体を表示できない場合がありますので、カーソルキー等を利用してスクロールしてください。
セグメント名	クライアントの所属するセグメントによって絞り込むことができます。指定なしおよび登録されているセグメント名を設定できます。デフォルトは指定なしです。
利用者名	該当クライアントの利用者名を表示します。
PC 名	該当クライアントの PC 名を表示します。

- 検索結果

項目	説明
MAC アドレス	該当クライアントの MAC アドレスを表示します。
セグメント(IP)	該当クライアントの所属セグメントおよび IP アドレスを表示します。複数のセグメントに所属している場合には複数行表示します。
編集	アイコン をクリックすると該当クライアントの編集を行うことができます。
削除	アイコン をクリックすると該当クライアントの削除を行うことができます。

クライアント追加

クライアント追加ではネットワークを利用するクライアントの追加を行います。

- インフォメーション

  操作の概要を表示します。

- 設定状況

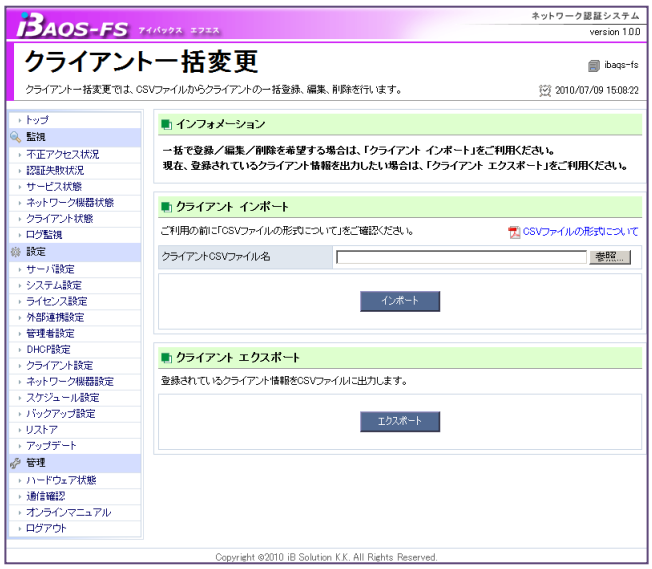
項目	説明
利用者名	クライアントの利用者名を設定します。
PC 名	クライアントの PC 名を設定します。

項目	説明	
認証	認証に使用する項目を設定します。	
	設定値	意味
	MAC アドレス	MAC アドレス認証を使用します。クライアントの MAC アドレスを併せて設定します。所属するセグメントの DHCP モードが固定割当または特定割当の場合には MAC アドレスの入力が必須となります。
	ユーザーID	EAP-MD5、Web 認証に使用します。MAC アドレスと併用する場合、MAC アドレスを評価しますので、異なるクライアントからの認証に使用できません。
認証ユーザーID	EAP-MD5 で使用するユーザーID を設定します。MAC ベース認証のみを使用する場合には設定不要です。	
認証パスワード	EAP-MD5 で使用するパスワードを設定します。MAC ベース認証のみを使用する場合には設定不要です。	
所属セグメント n	クライアントの所属するセグメントと IP アドレスを設定します。クライアントの所属するセグメントの DHCP モードが固定割当の場合には IP アドレスの入力が必須です。iBAQS-FS の DHCP サーバが無効化されている場合には表示されません。	

項目	説明	
クライアント利用	クライアントの一時利用停止を行いたい場合に「しない」に設定します。即時反映されます。	
認証有効期限制御	クライアントの認証可能な期間を設定します。有効期限が切れるとクライアント状態監視処理によりネットワーク接続が禁止されます。	
	設定値	動作
	する	設定した日を過ぎた場合、クライアントの認証が失敗するようになります。有効期限を延長するかクライアントを削除してください。
	しない	認証有効期限制御を利用しません。
VLAN 制御	ダイナミック VLAN を使用する場合には「する」を選択し、VLAN ID を入力します。VLAN ID は 1 から 4094 まで設定できます。デフォルトは「しない」です。	
メールアドレス	パスワード期限切れ（利用者）のアラートメールを使用する場合に設定します。クライアント状態監視処理により使用します。	
備考	クライアントに関するメモ等にご利用ください。設定内容が動作に影響を及ぼすことはありません。	

クライアント一括変更

クライアント一括変更では CSV ファイルを用いたクライアントの一括登録、一括変更、一括削除を行うことができます。また、現在登録されているクライアントを一括変更で使用する形式の CSV ファイルでダウンロードできます。



- インフォメーション

  操作の概要を表示します。

- クライアント インポート

  クライアントの一括変更を行う場合には、参照ボタンをクリックして一括変更に使用する CSV ファイルを選択し、インポートボタンをクリックします。

- CSV ファイルの書式

CSV ファイルは以下の 36 項目で構成されます。
[制御文字]、[クライアント CD]、[利用者名]、[PC 名]、[認証対象]、[MAC アドレス]、
[認証ユーザーID]、[認証パスワード]、[クライアント利用]、[認証有効期限制御]、
[認証有効期限]、[VLAN 制御]、[VLAN ID]、[メールアドレス]、[備考]、
[セグメント名 1]、[IP アドレス 1]、[セグメント名 2]、[IP アドレス 2]、
[セグメント名 3]、[IP アドレス 3]、[セグメント名 4]、[IP アドレス 4]、
[セグメント名 5]、[IP アドレス 5]、[セグメント名 6]、[IP アドレス 6]、
[セグメント名 7]、[IP アドレス 7]、[セグメント名 8]、[IP アドレス 8]、
[セグメント名 9]、[IP アドレス 9]、[セグメント名 10]、[IP アドレス 10]、
[終端文字]

例 1. 追加の場合
A,,福井太郎,pc-fukui,0,00-00-00-00-00-01,,,,1,0,,0,, yamada@ibaqs.co.jp,△△
担当,デフォルトセグメント,192.168.1.100,,,,,,,,,,,,,,,,,,,E

例 2. 編集の場合
U,33,福井太郎,pc-fukui,0,00-AA-AA-AA-AA-AA,,,1,0,,0,, yamada@ibaqs.co.jp,△△
担当,デフォルトグループ,192.168.1.100,グループ
２,192.168.2.100,,,,,,,,,,,,,,,,E
※クライアント CD は、「クライアントエクスポート」を利用することで取得できます。

例 3. 削除の場合
D,33,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,E
※クライアント CD は、「クライアントエクスポート」を利用することで取得できます。

項目	説明
制御文字	処理内容を設定します。 追加の場合・・・「A」 編集の場合・・・「U」 削除の場合・・・「D」 上記以外の文字の場合、処理されません。

項目	説明
クライアント CD	クライアントコードを設定します。 クライアントコードは登録済みのクライアントの付加情報で、「クライアントエクスポート」を利用することで取得できます。 編集／削除を行う場合は必須入力です。
利用者名	利用者名を設定します。 1 文字から 50 文字まで設定できます。全角文字も 1 字として数えます。
PC 名	PC 名を設定します。 1 文字から 50 文字まで設定できます。半角英数字と"-"（ハイフン）、"_"（アンダーバー）が利用できます。
認証対象	認証対象を入力します。 MAC アドレス・・・「0」 ユーザーID・・・「1」 MAC アドレス/ユーザーID・・・「2」
MAC アドレス	MAC アドレスを設定します。 "-"（ハイフン）区切りの半角英数字で設定します。
認証ユーザーID	ユーザーID 認証で利用するユーザーID を設定します。 ユーザーID 認証を使用する場合、必須入力です。
認証パスワード	ユーザーID 認証で利用するパスワードを設定します。 ユーザーID 認証を使用する場合、必須入力です。

項目	説明
クライアント利用	クライアント利用可否を設定します。 する場合・・・「1」 しない場合・・・「0」 半角数字の 0 か 1 を設定します。
認証有効期限制御	認証有効期限使用可否を設定します。 する場合・・・「1」 しない場合・・・「0」 半角数字の 0 か 1 を設定します。
認証有効期限	認証有効期限を設定します。 入力形式は、YYYY/MM/DD で、未来日を入力します。 認証有効期限を使用する場合、必須入力です。
VLAN 制御	認証有効期限使用可否を設定します。 する場合・・・「1」 しない場合・・・「0」 半角数字の 0 か 1 を設定します。
VLAN ID	VLAN 制御で使用する VLAN ID を設定します。 半角数字で 1 から 4094 で入力します。 VLAN 制御を利用する場合、必須入力です。
メールアドレス	メールアドレスを設定します。 値の入力は任意です。
備考	備考を設定します。 値の入力は任意です。
セグメント名 1	セグメント名を設定します。 入力するセグメント名は登録済のセグメント名です。 処理内容が登録と編集の場合には必須入力です。
IP アドレス 1	IP アドレスを設定します。 入力する IP アドレスはセグメント 1 のネットワーク範囲でなければなりません。

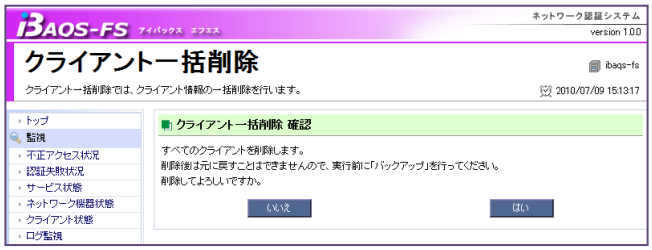
項目	説明
セグメント名 2～10	セグメント名を設定します。 入力するセグメント名は登録済のセグメント名です。 複数のセグメントに所属させる場合に必要に応じて設定します。
IP アドレス 2～10	IP アドレスを入力します。 入力する IP アドレスはセグメント 2～10 のネットワーク範囲でなければなりません。 複数のセグメントに所属させる場合に必要に応じて設定します。
終端文字	終端文字を設定します。 終端文字・・・「E」 終端文字は必須入力です。

- クライアント エクスポート

エクスポートボタンをクリックすることで、登録済のクライアントをすべてエクスポートします。
クライアント一括更新で編集や削除を行う場合にはエクスポートを利用してください。

クライアント一括削除

クライアント一括削除では登録されているすべてのクライアントを一度に削除します。念のためにバックアップを採取してから削除されることを推奨します。



- クライアント一括削除確認

  クライアント一括削除を行うには「はい」を、キャンセルする場合には「いいえ」をクリックします。「いいえ」をクリックした場合、クライアント設定画面に戻ります。

クライアント編集

クライアント編集では登録済クライアントの編集を行うことができます。

- インフォメーション

  操作の概要を表示します。

- 設定状況

項目	説明
利用者名	クライアントの利用者名を設定します。
PC 名	クライアントの PC 名を設定します。

項目	説明	
認証	認証に使用する項目を設定します。	
	設定値	意味
	MAC アドレス	MAC アドレス認証を使用します。クライアントの MAC アドレスを併せて設定します。所属するセグメントの DHCP モードが固定割当または特定割当の場合には MAC アドレスの入力が必須となります。
	ユーザーID	EAP-MD5、Web 認証に使用します。MAC アドレスと併用する場合、MAC アドレスを評価しますので、異なるクライアントからの認証に使用できません。
認証ユーザーID	EAP-MD5 で使用するユーザーID を設定します。MAC ベース認証のみを使用する場合には設定不要です。	
認証パスワード	EAP-MD5 で使用するパスワードを設定します。MAC ベース認証のみを使用する場合には設定不要です。	
所属セグメント n	クライアントの所属するセグメントと IP アドレスを設定します。クライアントの所属するセグメントの DHCP モードが固定割当の場合には IP アドレスの入力が必須です。iBAQS-FS の DHCP サーバが無効化されている場合には表示されません。	
クライアント利用	クライアントの一時利用停止を行いたい場合に「しない」に設定します。即時反映されます。	
認証有効期限	クライアントの認証可能な期間を設定します。有効期限が切れるとクライアント状態監視処理によりネットワーク接続が禁止されます。	
VLAN 制御	ダイナミック VLAN を使用する場合には「する」を選択し、VLAN ID を入力します。VLAN ID は 1 から 4094 まで設定できます。デフォルトは「しない」です。	
メールアドレス	パスワード期限切れ（利用者）のアラートメールを使用する場合に設定します。クライアント状態監視処理により使用します。	
備考	クライアントに関するメモ等にご利用ください。設定内容が動作に影響を及ぼすことはありません。	
パスワード更新日	パスワード更新日を表示します。	
登録日	クライアントを登録した日を表示します。	

クライアント削除

クライアント削除ではクライアントの削除を行えます。

- インフォメーション

  操作に関する概要を表示します。

- 設定状況

  削除対象の情報を表示します。間違いがなければ削除ボタンで削除してください。

項目	説明
利用者名	クライアントの利用者名を表示します。
PC 名	クライアントの PC 名を表示します。

項目	説明	
認証	認証に使用する項目を表示します。	
	設定値	意味
	MAC アドレス	MAC アドレスを表示します。
	ユーザーID	ユーザーID 認証の使用可否を表示します。
認証ユーザーID	認証に使用するユーザーID を表示します。	
所属セグメント n	クライアントの所属するセグメントと IP アドレスを表示ます。	
クライアント利用	クライアント利用の状態を表示します。	
認証有効期限制御	認証有効期限の状態を表示します。期限が設定されている場合には有効期限も表示します。	
VLAN 制御	VLAN 制御の状態を表示します。	
メールアドレス	メールアドレスを表示します。	
備考	備考に入力されたメモ等を表示します。	
パスワード更新日	パスワード更新日を表示します。	
登録日	クライアントを登録した日を表示します。	

ネットワーク機器設定

ネットワーク機器設定では登録済ネットワーク機器の確認、追加、編集、削除を行えます。

- インフォメーション

  現在登録されているネットワーク機器の台数を表示します。

- 設定状況

  現在の登録状況を表示します。

項目	説明
機器名	ネットワーク機器の機種名を表示します。
機器 IP アドレス	ネットワーク機器の IP アドレスを表示します。
設置場所	ネットワーク機器の設置場所を表示します。
編集	アイコン をクリックすると該当ネットワーク機器の編集を行うことができます。
削除	アイコン をクリックすると該当ネットワーク機器の削除を行うことができます。

ネットワーク機器追加

ネットワーク機器追加では認証、通信制限に使用するネットワーク機器を設定します。

- インフォメーション

  操作の概要を表示します。

- 設定状況

項目	説明
機器名	機器名を設定します。半角英数字記号で最大 32 文字まで設定可能です。
機器種別	リストボックスから機器種別を選択します。機器種別を誤って選択すると認証ログ等のポート番号表記が正しく表示されない場合があります。
機器 IP アドレス	ネットワーク機器の IP アドレスを設定します。IP アドレスを誤って設定すると認証が正常に行われませんのでご注意ください。
共有パスワード	RADIUS 認証で使用する共有パスワードを設定します。テキストフィールドをクリックし、ポップアップウィンドウでパスワードを設定します。6 文字から 20 文字まで設定できます。
設置場所	ネットワーク機器の設置場所を設定します。不正アクセスやネットワーク機器異常のアラートメールに使用します。1 文字から 50 文字まで設定できます。全角も 1 字で計算します。
購入日（西暦）	ネットワーク機器の購入日を設定します。任意入力です。

ネットワーク機器編集

ネットワーク機器編集では既に登録されているネット枠機器の情報を変更します。

- インフォメーション

  操作の概要を表示します。

- 設定状況

項目	説明
機器名	リストボックスから機器を選択します。機器を誤って選択すると telnet での制御が正常に行われませんのでご注意ください。
機器 IP アドレス	ネットワーク機器の IP アドレスを設定します。IP アドレスを誤って設定すると認証、制御が正常に行われませんのでご注意ください。
共有パスワード	RADIUS 認証で使用する共有パスワードを設定します。設定ボタンをクリックし、ポップアップウィンドウでパスワードを設定します。6 文字から 20 文字まで設定できます。
設置場所	ネットワーク機器の設置場所を設定します。不正アクセスやネットワーク機器異常のアラートメールに使用します。1 文字から 50 文字まで設定できます。全角も 1 字で計算します。
購入日（西暦）	ネットワーク機器の購入日を設定します。任意入力です。

ネットワーク機器削除

ネットワーク機器削除では登録済のネットワーク機器を削除します。
削除を行うと、認証、通信制限の解除が行われなくなりますのでご注意ください。

- インフォメーション

  削除に当たっての注意事項を表示します。

- 設定状況

  設定内容を確認の上、問題がなければ削除ボタンをクリックして削除を実行してください。

項目	説明
機器名	ネットワーク機器の機器名を表示します。
機器 IP アドレス	ネットワーク機器の IP アドレスを表示します。
設置場所	ネットワーク機器の設置場所を表示します。
購入日（西暦）	ネットワーク機器の購入日を表示します。

スケジュール設定

スケジュール設定では定期的に実行するバッチジョブの実行状態、実行周期を設定できます。

- インフォメーション

  操作の概要を表示します。

- スケジュール設定

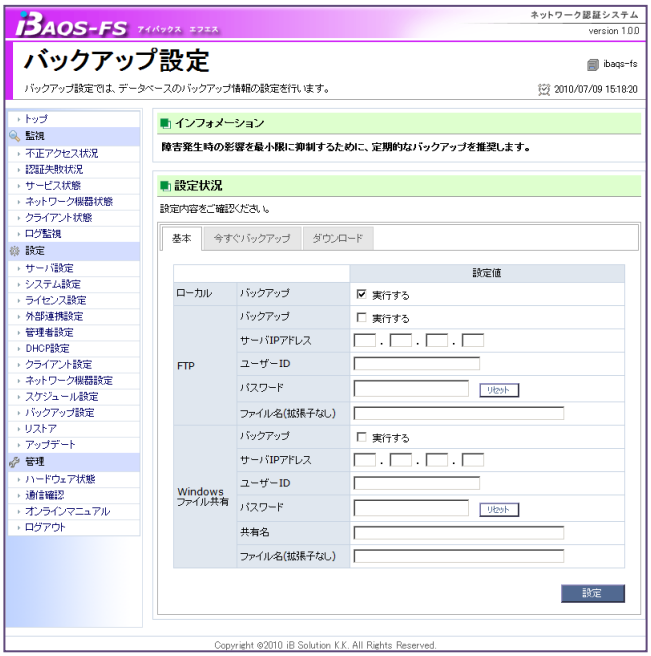
項目	説明		
バックアップ処理	バックアップ設定で設定した内容で設定情報をバックアップします。 自動実行は無効にできます。実行周期は毎日、毎週（曜日指定）、毎月（1-27、月末）です。開始時刻は時、分で設定します。バックアップ処理時、認証パフォーマンスが若干低下しますので業務時間外に実行するように調整してください。		
	状況	詳細	説明
	有効	毎日 N 時 N 分	毎日設定した時刻に処理を開始します。
		毎週 X 曜日 N 時 N 分	毎週設定した曜日、時刻に処理を開始します。
		毎月 N 日 N 時 N 分	毎月設定した日、時刻に処理を開始します。
	無効	-	処理は無効です。

<table>
<tr><th>項目</th><th colspan="3">説明</th></tr>
<tr><td>ログ削除処理</td><td colspan="3">システム設定のログ保持期間を超過したログ情報を削除します。ログ削除処理時、認証パフォーマンスが若干低下しますので業務時間外に実行するように調整してください。</td></tr>
<tr><td rowspan="2"></td><td>状況</td><td>詳細</td><td>説明</td></tr>
<tr><td>有効</td><td>毎日 N 時 N 分</td><td>毎日設定した時刻に処理を開始します。</td></tr>
<tr><td>データベース不要領域復旧処理</td><td colspan="3">ログ削除処理により使用されなくなったデータベースの領域を開放し再利用可能にします。これによりデータベースのサイズが大きくなることを防ぎます。ログ削除処理の 30 分から 1 時間後に実行すると効果的です。データベース不要領域復旧処理時、認証パフォーマンスが若干低下しますので業務時間外に実行するように調整してください。</td></tr>
<tr><td rowspan="4"></td><td>状況</td><td>詳細</td><td>説明</td></tr>
<tr><td rowspan="3">有効</td><td>毎日 N 時 N 分</td><td>毎日設定した時刻に処理を開始します。</td></tr>
<tr><td>毎週 X 曜日 N 時 N 分</td><td>毎週設定した曜日、時刻に処理を開始します。</td></tr>
<tr><td>毎月 N 日 N 時 N 分</td><td>毎月設定した日、時刻に処理を開始します。</td></tr>
<tr><td>サービス監視処理</td><td colspan="3">サービスの稼働状況を定期的に確認します。システム設定のアラートメールでシステム異常時を選択している場合にサービス停止を検出すると管理者へアラートメールを送信します。</td></tr>
<tr><td rowspan="3"></td><td>状況</td><td>詳細</td><td>説明</td></tr>
<tr><td>有効</td><td>毎 N 分</td><td>設定した分周期で処理を開始します。</td></tr>
<tr><td>無効</td><td>-</td><td>処理は無効です。</td></tr>
<tr><td>ネットワーク機器状態監視処理</td><td colspan="3">登録されているネットワーク機器の死活監視を行います。監視は各機器 1 回の ping で行います。タイムアウト値は 1 秒です。オンデマンド VPN で常時通信できない拠点にネットワーク機器が設置されている場合には無効にすることをお奨めします。</td></tr>
<tr><td rowspan="3"></td><td>状況</td><td>詳細</td><td>説明</td></tr>
<tr><td>有効</td><td>毎 N 分</td><td>設定した分周期で処理を開始します。</td></tr>
<tr><td>無効</td><td>-</td><td>処理は無効です。</td></tr>
</table>

<table>
<tr><th>項目</th><th colspan="3">説明</th></tr>
<tr><td>クライアント状態監視処理</td><td colspan="3">クライアントの認証有効期限の確認、ユーザーID 認証のパスワード有効期限確認、認証有効期限警告処理、パスワード有効期限警告処理、認証局有効期限警告処理を行います。自動実行は無効にできません。実行周期は毎日固定です。開始時刻は時、分で設定します。</td></tr>
<tr><td></td><td>状況</td><td>詳細</td><td>説明</td></tr>
<tr><td></td><td>有効</td><td>毎日 N 時 N 分</td><td>毎日設定した時刻に処理を開始します。</td></tr>
<tr><td>アップデート確認通知処理</td><td colspan="3">アップデート確認処理、アップデート通知処理を行います。ライセンス有効期限を過ぎている場合、確認、通知ともに行われません。実行周期は毎日固定です。開始時刻は時、分で設定します。</td></tr>
<tr><td></td><td>状況</td><td>詳細</td><td>説明</td></tr>
<tr><td></td><td>有効</td><td>毎日 N 時 N 分</td><td>毎日設定した時刻に処理を開始します。</td></tr>
<tr><td></td><td>無効</td><td>-</td><td>処理は無効です。</td></tr>
</table>

バックアップ設定

バックアップ設定では設定情報のバックアップ方法を設定します。また、設定した内容での今すぐ（オンデマンド）バックアップ、ローカルバックアップファイルのダウンロードもできます。定期実行に関してはスケジュール設定のバックアップ処理で設定できます。



- インフォメーション

  設定に関する注意事項を表示します。

- 設定状況

項目	説明
ローカルバックアップ	実行するにチェックを入れるとiBAQS-FS本体内に1世代のみバックアップを行います。今すぐバックアップを行うと定期バックアップのファイルが上書きされますのでご注意ください。

項目	説明	
FTP	実行するにチェックを入れると設定したFTPサーバにバックアップファイルをPUTします。	
	サーバIPアドレス	FTPサーバのIPアドレスを設定します。
	ユーザーID	FTPサーバのユーザーIDを設定します。ホームディレクトリにバックアップファイルをPUTするので、ホームディレクトリに書き込み権限のあるユーザーID を設定します。
	パスワード	FTPサーバのパスワードを設定します。設定ボタンをクリックで表示されるポップアップウインドウで設定します。
	ファイル名	FTPサーバにPUTする際のファイル名を指定します。実際に FTP サーバに PUT するファイルは[設定ファイル名].YYMMDD.tar.gz というファイル名になります。
Windows ファイル共有	実行するにチェックを入れると設定したWindows ファイル共有に対してバックアップファイルをコピーします。使用プロトコルはCIFSです。	
	サーバIPアドレス	Windows ファイル共有を提供するホストの IP アドレスを設定します。
	ユーザーID	共有リソースに接続するためのユーザーID を設定します。共有リソース直下にバックアップファイルをコピーするので、共有リソース直下に書き込み権限のあるユーザーIDを設定します。
	パスワード	共有リソースに接続するためのパスワードを設定します。
	共有名	共有リソース名を設定します。
	ファイル名	共有リソースにコピーする際のファイル名を指定します。実際に共有リソースにコピーするファイルは[設定ファイル名].YYMMDD.tar.gz というファイル名になります。

- 今すぐバックアップ

  バックアップボタンをクリックすると現時点のバックアップを作成します。設定状況を変更した後で設定ボタンをクリックしていない場合には変更が反映されない状態でバックアップが行われますので注意してください。同日、既に定期バックアップを実行済の場合にはバックアップファイルが上書きされてしまいますので、事前にローカルバックアップファイルのダウンロード、FTP や Windows ファイル共有上のファイル待避またはリネームをお願いします。

- ダウンロード

  ダウンロードボタンをクリックすると現時点のローカルバックアップファイルをダウンロードすることができます。定期バックアップでローカルバックアップを行っていれば前回バックアップ処理実行時のバックアップファイルを、今すぐバックアップを行っていれば今すぐバックアップを行った時点でのバックアップファイルをダウンロードします。

リストア

リストアではバックアップファイルを用いた設定情報の復元を行います。また、初期設定へ戻すこともできます。リストア後は自動的に再起動が行われます。認証が停止しますので、運用中のリストアは行わないでください。

- インフォメーション

  操作に関する概要を表示します。

- バックアップファイルでのリストア

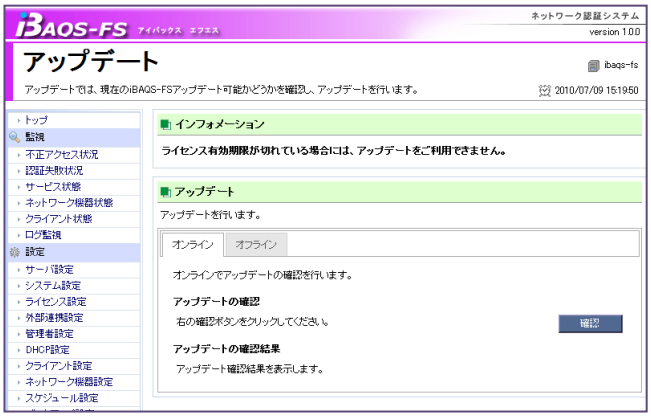
  バックアップファイル採取時の設定を復元します。ログ情報に関しては復元しません。リストアを行うには参照ボタンをクリックして復元するバックアップファイルを選択し、リストアボタンをクリックします。リストアには少し時間がかかります。リストア後は自動的に再起動を行います。再起動時に認証が停止しますので運用中のリストアは避けてください。冗長構成時に冗長構成時以外のバックアップファイルをリストアするとシステムが正しく動作しなくなりますので特別な理由がない場合には行わないようにしてください。

- 工場出荷時に戻す

  初期状態の設定を復元します。ログ情報は全て消去されますのでご注意ください。工場出荷時に戻すには工場出荷時に戻すボタンをクリックします。リストアには少し時間がかかります。リストア後は自動的に再起動を行います。

アップデート

アップデートではアップデートの確認およびアップデートの適用を行います。



- インフォメーション

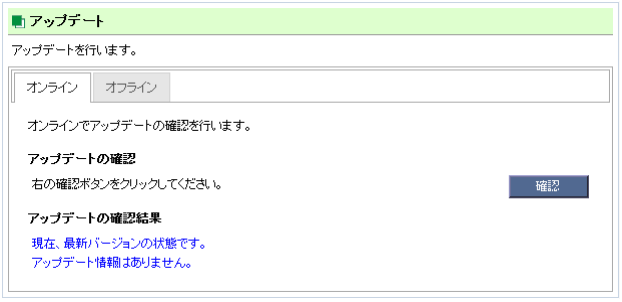
  操作に関する概要を表示します。

- アップデート 確認

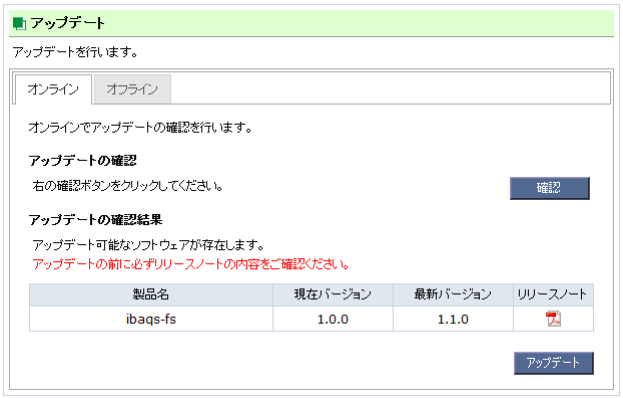
  確認ボタンをクリックすると、アップデートサーバへ接続し、アップデートの確認を行います。確認の結果はアップデート確認結果に表示します。アップデート確認では弊社のアップデートサーバへ http による通信を行います。iBAQS-FS をインターネットと直接通信できる場所に設置するかサーバ設定のプロキシサーバを設定してください。

- アップデート確認結果

  アップデートがない場合には「現在、最新バージョンの状態です。アップデート情報はありません。」と表示します。



アップデートがある場合には「アップデート可能なソフトウェアが存在します。」と表示します。リリースノートのアイコン をクリックしてリリースノートを確認した上で運用時間以外にアップデートをクリックしてください。アップデートが完了すると自動的に再起動を行います。アップデートは回線状況により時間がかかる場合があります。ブラウザの戻るボタン等で画面を移動すると正常にアップデート処理が行われませんので再起動が行われるまでお待ちください。



- オフラインアップデート

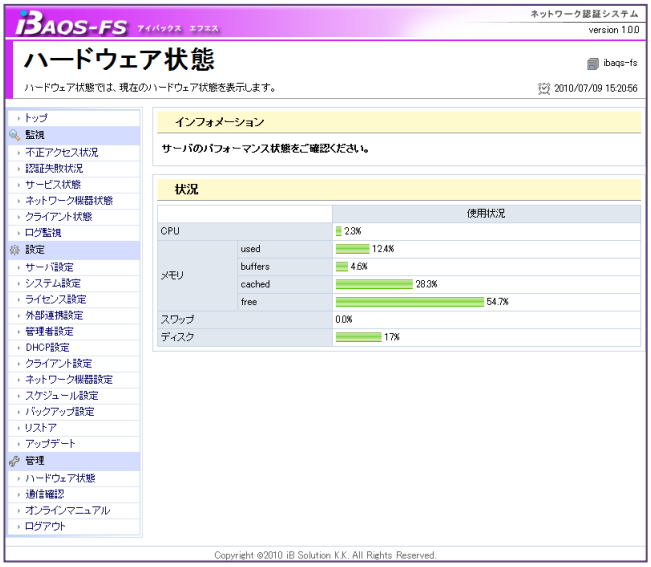
インターネットに接続できない環境でご利用になっている場合には別途オフライン用アップデートファイルを提供しております。ご希望の方は iBAQS-FS 製品サイトをご覧ください。

管理

ハードウェア状態. 100
通信確認. 101
ログアウト. 102

ハードウェア状態

ハードウェア状態ではサーバの CPU 使用率、メモリ使用率、ディスク使用率を表示します。画面を表示した際の瞬間値となりますので、詳細な状態遷移は SNMP マネージャから取得してください。



- インフォメーション

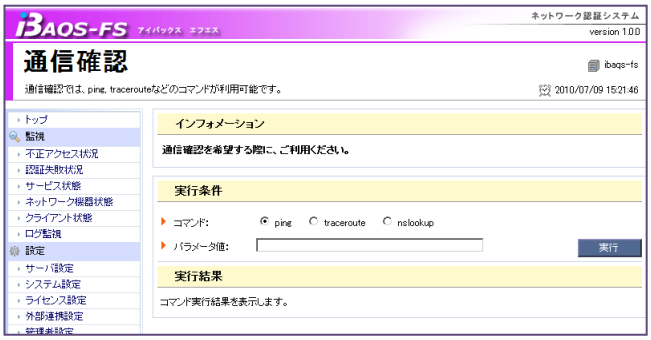
  操作に関する概要を表示します。

- 状況

項目	説明	
CPU	CPU の使用率を表示します。	
メモリ	メモリの使用率を表示します。	
	used	プログラム用メモリを表示します。free が不足している場合には buffers や cached からメモリを確保します。
	buffers	バッファ用メモリを表示します。
	cached	キャッシュ用メモリを表示します。
	free	空きメモリを表示します。0%に近くなってもスワップの使用率が増えていなければ特に問題はありません。
スワップ	スワップの使用率を表示します。	
ディスク	ハードディスクの使用率を表示します。	

通信確認

通信確認ではネットワーク確認用として ping、traceroute、nslookup を使用できます。疎通確認に ping、traceroute、名前解決確認に nslookup を使用してください。



- インフォメーション

  操作に関する概要を表示します。

- 実行条件

  実行するコマンドおよびパラメータを設定し、実行をクリックします。

項目	パラメータ値	説明
ping	IPv4 アドレス または FQDN	指定したパラメータ値宛に ping を 4 回行います。FQDN を指定する場合には DNS サーバが正しく設定されていることをご確認ください。
traceroute		指定したパラメータ値宛に traceroute を行います。最大 30 ホップまで表示します。FQDN を指定する場合には DNS サーバが正しく設定されていることをご確認ください。
nslookup		指定したパラメータ値の名前解決を行います。

ログアウト

ログアウトをクリックするとログアウトを行います。再度設定を行う場合にはログインボタンをクリックしてください。

その他

困ったときは. 104

困ったときは

iBAQS-FS の使用中にトラブルが発生したときは、お問い合わせの前に、もう一度以下の点をお確かめください。

症状	原因	処置
ライセンス登録が行えない	ライセンスキーの入力に誤りがある	0（ゼロ）、O（オー）や1（イチ）、I（アイ）等の違いをご確認ください
ライセンス有効期限が取得できない	弊社のアップデートサーバへhttp通信ができない	デフォルトゲートウェイやプロキシの設定が誤っていないかご確認ください
ネットワーク機器から認証が行えない	ネットワークの疎通ができていない	通信確認の「ping」を用いて接続の可否を確認してください
	ネットワーク機器設定が誤っている	ネットワーク機器設定の IP アドレスや共有パスワードを確認してください

ホームページのご案内

iBAQS-FS ホームページでは、最新ソフトウェア情報、よくあるお問い合わせなどを提供しています。本製品を最適にご利用いただくために、定期的にご覧いただくことをおすすめします。

http://ibaqs-fs.ib-sol.co.jp/

製品に関するご質問は...

本製品のご質問は下記サポートセンターまでお問い合わせください。

サポートセンター

アイビーソリューション株式会社
〒918-8152 福井県福井市今市町 66-20-2 ホクコンビル 4F
TEL：0776-38-6373　　FAX：0776-38-5341
URL　http://www.ib-sol.co.jp
e-mail：support.ibaqs@ib-sol.co.jp
iBAQS-FS 担当係まで
〈受付時間〉
9:00 ～12:00、13:00 ～ 17:00　月～金（祝・祭日を除く）